



2021 年 3 月 25 日

各位

株式会社テンアップ

〒220-8107

神奈川県横浜市西区みなとみらい 2 丁目 2-1

横浜ランドマークタワー 7 階 NANA Lv 007

代表取締役 金谷 建史

お問い合わせ先 : info@10up.co.jp

バーチャルで触れ合える街「DX タウン」建設工事を開始！

VR 空間で地鎮祭を実施

VR 空間での教育事業を展開する株式会社テンアップ(本社：横浜市西区みなとみらい、代表取締役社長：金谷 建史)は、そのノウハウを活かし、学校を含む他の業種を包括した VR 空間『DX タウン』の建設工事を開始し VR 空間内で地鎮祭も執り行いました。



・ システムの特徴

当社システムの最大の魅力は『顔の見えるアバター』。利用者が VR 空間であやつる分身『アバター』の顔部分が Web 会議さながらのモニターとなっています。VR 空間の中を 360 度自由に動き回れるだけでなく、利用者・主催者双方に顔を見ながらコミュニケーションを取れることが特徴です。

コロナ禍でテレワークが進んだこともあり、利用者の Web 会議システムへの抵抗感や違和感も低く、オンライン上のアバターに自分の顔を表示させて動かすことができます。

※本システムは特許出願中のサービスです。



・ DX タウン開発の背景

VR 導入を検討するさまざまな業態の企業さまからは、「利用者のリアルな反応を大事にしたい」という思いから、利用者の表情を見たいというニーズが非常に高く、また、当社の教育事業での運営ノウハウを参考にしたいというお声が多く寄せられました。

そこで、企業さまごとにバーチャルサービスを展開するのではなく、様々な業態の施設が集まるひとつの街として利用者にサービスを提供することを考案しました。

VR 空間のなかで、利用者が顔の見えるアバターを使い、「遊ぶ」・「仕事をする」・「勉強する」・「商品を購入する」といったリアルと同等の体験をかなえる場所として『DX タウン』の着工に至りました。

・ DX タウンのコンセプト

DX タウンのコンセプトは「リアルがもっと好きになる VR」。

この VR 空間でのさまざまな体験を通し、実生活のなかでさまざまな活動により興味を持ち、楽しめるよう、利用者の生活をこれまで以上に豊かなものにすることを目指しています。

また、顔の見えるアバターを使用した VR 空間での利用者とかかわりは、各企業さまの DX(デジタルトランスフォーメーション)サービスの一助となり、そのサービスのファンづくりに貢献していけると考えています。

※現在、小学館アクセラレーターの一環で株式会社小学館様、株式会社小学館集英社プロダクション様から「近未来の世界について」、株式会社 RICOH 様からは「360 度の世界観と表現方法について」、それぞれアドバイスをいただいております。

・DXタウン建設予定と地鎮祭開催について

現在、学校・水族館・シアター・飲食店・小売店・結婚式場・観光施設など、20を超えるさまざまな業態の企業さまがDXタウンに参入予定です。

そこで、各企業さまの安全な施設建築を祈念するため、2021年3月25日にDXタウン着工の地鎮祭をVR空間で執り行いました。地鎮祭後は、このプレスリリースをご覧の企業様、新規事業担当者様と新たな施設づくりやVR空間での営業実証実験等を行うことが可能ですので、是非お気軽にお問合せください。

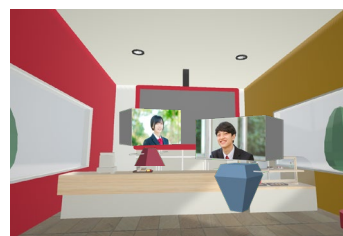
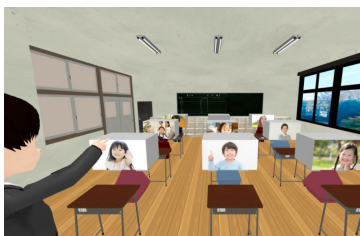


〔 名称 〕 DX Town (ディーエックスタウン)

〔 URL 〕 <https://www.dx-town.com/>

〔 問合せ 〕 info@10up.co.jp

DXタウン内で活動イメージ



以上